

儲かる果物づくり実現を目指して

果樹研究室

令和5年度の主要な研究課題の概要

『ナシ「ひたちP3号」「ひたちP4号」の栽培管理技術及び貯蔵技術の開発』（R5～9）

県で育成したナシ新系統「ひたちP3号」「ひたちP4号」について、今後の産地導入推進を図るため、高品質果実安定生産技術を開発します。

『気候変動に対応したナシの高品質果実生産技術の開発』（R2～6）

携帯型分光計を用いたナシ果実の果実品質予測技術や異常気象時の品質向上対策技術など、気候変動に対応した高品質果実生産技術を開発します。

『種なしブドウ栽培における早期高品質安定生産技術の開発』（R3～7）

消費者ニーズへの対応として新品種を導入する際、若木時は果実品質が不安定であることが多いことから、苗木定植後、早期に高品質果実生産するための栽培管理方法を確立します。

『果樹推奨品種決定と生態・収量予測』（H30～R4）

主要果樹（ナシ・クリ・ブドウ・ウメ・カキ等）について、（国研）農研機構育成系統及び民間育成品種の特性を比較検討し、消費者や実需者のニーズに対応した本県に適する優良品種を選定します。



「恵水」



「シャインマスカット」

令和4年度の主な成果

食味良好な極早生の 青ナシ新品種「蒼月」（そうげつ）

農研機構により育成された青ナシ新品種「蒼月」は、露地栽培「幸水」よりも14日程度早く収穫できる極早生品種で、「幸水」よりも果肉が軟らかく、糖度は「幸水」と同程度で良食味です。



栽培上の特徴として、長果枝利用型剪定では花芽が着生しにくい傾向があるため、長めの予備枝の配置や夏季の新梢誘引などで花芽確保に努めましょう。

品種名	樹齢 (年生)	収量 (kg/樹)	一果重		糖度 (Brix%)	pH	生理障害の発生	
			(g)	(lbs)			みづ症	生理的 裂果
蒼月	7.8	33.5	335	4.8	12.0	5.16	少～中	少～中
GA ¹⁾ 幸水	33.26	96.8	433	5.7	12.2	5.15	無	少
幸水	25.26	74.5	409	5.4	12.2	5.12	無	少
早水	17.18	29.4	340	5.6	13.3	4.85	少	少

※令和3年度～令和4年度園芸研究所(笠間市安居)

1) ジベレリン塗布剤処理

ブドウ「シャインマスカット」の 早期成園化に向けた若木の管理法

ブドウ「シャインマスカット」は、定植1年目に窒素量20g/樹を施用することで8m以上の総主枝長が確保でき、定植2年目に換算収量で10a当たり800kg程度収穫できます。



図 「シャインマスカット」の樹姿と果実
左：定植2年目（3年生）の着果状況
右：初結実した果実の例

今後の方向

- 主要果樹（ナシ、ブドウ等）において、品種特性を活かした高品質安定栽培技術を開発します。
- 作業省力化・軽労化に向けた生産技術の開発や気象変動に対応できる生産技術を開発します。
- 関係機関と連携して現地検討会や現地試験を実施し、新品種や新技術の早期普及・定着を促進します。